＼学びや研究ってどうやって広げたら良いの？／

副専攻・高度副プログラム×総合図書館　セミナー

「学際ラウンジ」シリーズ

エネルギーの未来を考える人びと
―原発事故と再エネ導入の科学技術社会論―

話題提供者　梅沢泰成（うめざわ・たいせい）さん

人文学研究科M2。主専攻は科学技術社会論。気候問題を中心に一般市民と専門家が共に考え、行動するあり方について、主に社会学の観点から研究しています。副専攻プログラム「公共圏における科学技術政策」履修。副専攻プログラムでは、かねてから関心があった福島第一原発事故による地域の生業の崩壊を対象に、それが様々な芸術作品においてどのように捉えられたのかを研究しました。

日時　2025 1/20（月）13:30～14:30

会場　豊中キャンパス
総合図書館B棟2階ラーニング・コモンズ
（飛び入り参加、オンライン参加も可）

定員　先着 10 名

阪大生はどんな研究活動をしているの？

他分野を学ぶってどういうこと？

普段の学びを研究にするためには、どうするの？

社会と繋がった研究って何？

このように感じている方、ぜひお越しください！

↓お問い合わせはこちら↓

大阪大学学際大学院機構（i-TGP）横断型教育統括部門
田尾俊輔（tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp）

参加事前申込はフォームから